

亜細亜大学国際オープンテニス2019



3月13日(水)本戦2日目



亜細亜大学
ASIA UNIVERSITY

ハイライト

大会3日目を迎えた本日は、シングルスとダブルスの1Rが行われた。風が強く選手にとっては少し難しい中での試合となり、シングルスではシード選手が敗退する波乱が起きた。午前10時より行われた第1試合では第2シードのレベッカ・スランコバ選手がガブリエラ・テイラー選手(イギリス)と対戦。レベッカ選手は序盤から強風に苦戦しミスを連発。対するガブリエラ選手は風に苦戦するレベッカ選手とは対照的に冷静な試合展開を見せ、粘り強いプレーの中にも鋭いストロークでコースを突いていくアグレッシブさも発揮する。

自分のプレーを取り戻そうとするレベッカ選手だったがガブリエラ選手は格上相手に一切隙を見せず終始高い集中度を見せ圧倒。最後まで試合のペースを相手に握られたレベッカ選手は3-6.0-6で敗れ初戦で姿を消した。

第2試合には今大会第1シードのバレンティーニ・グラマティコポール選手(ギリシャ)が登場し予選勝者のキャサリン・ハリソン選手(アメリカ)と対戦し両選手とも気迫を前面に出した激戦が繰り広げられた。試合はお互い1セットずつを奪い合いはファイナルセットにもつれる。ファイナルセットは第1ゲームにセカンドセットを奪い勢いに乗るキャサリン選手が先にブレイクし優位に立つが第2ゲームにバレンティーニ選手がブレイクバックに成功し試合を振り出しに戻す。そこから両選手とも一歩も譲らないキープキープの展開となりタイブレイクに突入。安定したストロークで試合を組み立てるキャサリン選手に対しバレンティーニ選手は得意の速いテンポでボールを散らし攻撃的なプレーで応戦。勝負所でバレンティーニ選手の強烈なフォアハンドの逆クロスが2本決まりゲームセット。苦しんだ末にトップシードが2回戦へと駒を進めた。

ガブリエラ・テイラー選手



レベッカ・スランコバ選手



バレンティーニ・グラマティコポール選手



一注目のカード

キャロライン・ワーナー選手(ドイツ)
ステファニー・ワグナー選手(ドイツ)

VS

南文乃選手(亜細亜大学)
朝倉菜月選手(亜細亜大学)

1回戦で第2シードペアを撃破した南・朝倉ペアが今大会の台風の目となるか。真価が問われる一戦となる。

